

令和7年度自己評価表

鳥取県立鳥取商業高等学校

中長期目標 (学校ビジョン)	保護者・地域と連携し、望ましい職業観・勤労観を身につけ、知・徳・体のバランスのとれた次代を担う若者を育てる	今年度の 重点目標	1. 鳥商生としての自覚と誇りを持ち、物事を批判的に考察し、主体的に行動できる力をつける 2. 望ましい職業観・勤労観を身につけ、進路実現に向けて努力する 3. 健康に留意し、学力向上と部活動等に励む 4. ビジネス社会及びグローバル社会に必要な力を身につける
-------------------	---	--------------	---

年 度 当 初					評 価 結 果 ()月		
評価項目	評価の具体項目	現状	目標(年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策
1. 鳥商生としての自覚と誇りを持ち、物事を批判的に考察し、何事にも主体的・積極的に取り組み、行動できる人材に育っている	①高い規範意識・人権意識 ②主体的に考え、行動する力 ③安心、充実の学校生活	①(保護者)生徒に挨拶やルール、マナー等、社会に通用する意識や態度が育っている83% ①社会・学校のルールを守るように努め、挨拶や正しい服装ができている 98% ①身の回りの整理整頓や正しい言葉遣いが不十分。 ①②学校行事・生徒会活動・部活動に主体的に取り組む、集団に貢献している 94% ②地域との連携件数 8件 ③安心して学校生活を送っている 97%	①②規範意識が高く、主体的に自らが考え、場面に応じた適切な行動ができる(生徒アンケート95%以上、保護者アンケート80%以上) ②地域の産業経済界と連携した活動ができている(連携件数8件) ③安心して学校生活を送れている(生徒アンケート95%以上)	①生徒による生徒会自治会規則の検証・改訂 ②積極的な地域や企業との交流 ③ユニバーサルデザインの視点を取り入れた環境整備 ③ビジネスマナー・5Sの徹底(教室環境の整備指導を継続) ③主体的な挨拶、正しい言葉遣いの指導			
2. 望ましい職業観・勤労観を身につけ、進路実現を通じて地域経済の活性化に資する人材に育っている	①体験的活動を通じた職業観、勤労観の醸成 ②体系的・計画的なキャリア教育	①②(3年) 就職希望者内定率 100% 進学希望者内定率 98% ①進路志望未決定者1.3% ②(3年)進路学習の内容に満足している生徒95.6%	①②1,2年:適切な進路目標を段階的に設定できる(80%以上) ①②3年:就職・進学ともに全ての生徒が進路を実現できる(内定率100%)	①②系統だてられた体験的活動や進路学習内容の実施及び改善(フィールドスタディ、進路LHR、進路調べ、進路ガイダンス、大学訪問等) ②進路実現の為に必要な学力向上のための方策の実施(補習、校外模試、公務員セミナー等)			
3. 自己の心身を大切に、学力向上と部活動等に励むことができる人材に育っている	①基本的生活習慣の確立 ②主体的な授業や部活動への取り組み	①就寝時間が遅く、睡眠が足りていない 59.8% ②自宅学習調査 1年60分 2年46分 3年29分 ②3年全商検定1級未取得者 7.3% ②部活動が両立できている 71%	①十分な睡眠が確保できている。(生徒アンケート80%以上) ②家庭学習が習慣化している(1日50分) ②全商検定取得目標が達成できている。 【1年】電卓普通計算1級・英検3級・簿記3級・情報2級・商経3級 【2年】簿記1級(会)、簿記2級(商・情・デ)英検3級以上(全) 【3年】1級未取得者0 ②学業と部活動の両立ができる(生徒アンケート70%以上)	①保健委員を中心に睡眠時間確保への活動を実施 ②家庭学習に主体的に取り組める方策の実施(タブレット端末等を利用した効率的な課題配信の工夫) ②検定週間におけるグレード別検定補習等の実施 ②教科担当者会議の開催や生徒面談等とおして、情報共有し、学習習慣の定着を図る ②授業公開週間の実施 ②生徒主体の部活動の実践			
4. 地域や世界に関心を持ち、持続可能で豊かな社会を想像・創造できる人材に育っている	①修得した知識や技術のビジネス実践力へ活用 ②グローバル感覚、自己表現力、語学力の養成	①(鳥商デパート来客数)約4,725人 ①鳥商デパートが3年間のビジネス教育で学んだことを生かす「集大成の場」になりされていない。 ①鳥商デパートが生徒の主体的な企画・運営になりされていない。 ②全商英検合格者数 1級 11人 2級 54人 ②自分の考えを効果的に表現できない。 ②国際交流参加延べ人数 540人	①第32回鳥商デパート来場者数7000人以上(地域・産業経済界との関わり) ①鳥商デパートを主体的に企画・運営できた生徒・ビジネス教育の学びを生かした生徒(生徒アンケート90%以上) ②自分の考えを効果的に表現(日本語、英語)できる(ニュースレポート等で自分の意見を書いている生徒:生徒アンケート70%以上) ②全商英検1級合格者10人以上、2級50人以上 ②国際交流参加者数50%以上(延べ人数)	①商業科目との関連性を確認しながら、鳥商デパートを準備・課題研究の工夫、改善 ②表現力養成のためのインプットと発信力の強化 ②図書やオンラインツール、鳥商手帳を活用して自分の考えをまとめる ②国際交流の機会を積極的に作り、生徒が参加しやすい環境とする			
5. 業務改善の取り組み	①長時間勤務者の削減 ②働きやすい職場環境の実現	①②時間外業務時間の合計が360時間以上の勤務者 9名(300～359時間以上の勤務者 3名)	①年間の時間外業務時間の合計が360時間を超える勤務者をなくす。 ②毎月の時間外業務時間が減少している。	①部活動方針の徹底と部活動の月別計画、実績表の活用 ①②衛生委員会の活用 ①②迅速な情報共有により、適切な初期対応の実施			

評価基準 A: 十分達成 B: 概ね達成 C: 変化の兆し D: まだ不十分 E: 目標・方策の見直し

〔100%〕 〔80%程度〕 〔60%程度〕 〔40%程度〕 〔30%以下〕